

ヤマトニュース



「夏の風物詩(蛸干し)」PHOTO by S.YAMAOKA

活用事例のご紹介

無線通信機能搭載デジタルはかりシリーズ

展示会レポート | FOOMA JAPAN 2010
TOTAL展

製品情報 | デジタル式上皿自動はかり UDS-210W
金属検出機一体形オートチェッカ CSE22LM
スクリーコンベヤスケール

トピックス | 非自動はかりの平成22年経過措置満了について
平成21年度役員職務分掌

2010.8

No. 402

国内

FOOMA JAPAN 2010

FOOMA JAPAN2010(国際食品工業展)が、6月8日から6月11日までの4日間、東京有明の東京国際展示場(東京ビッグサイト)にて開催されました。

33回目となる今回は、東京ビッグサイトの東ホールを使用し、「食と機械のワンダーランド」をテーマに、693社が出品し国内外から102,651名(主催者発表)の来場者がありました。

本展は、1978年の第一回開催以来、食品機械を中心にした展示が行われてきましたが、近年原料処理から包装、搬送に至る工程に加え、衛生、環境対策や検査、エンジニアリングなど食品製造に関わるあらゆる内容を網羅したトレードショーとして発展し、今やアジア最大規模の食品工業展となりました。

Yamatoは、東3ホールに12小間のスペースを構え、「革新的計量技術によるトータルソリューション」をテーマに、自動計量包装～検査～箱詰めまでのライン展示を行いました。

ΣコンパクトシリーズADW-324SDと、川島製作所殿の高速包装機KBF-6110XRを連動し、2品種ミックス計量を120/分の高速運転で実演。Vシリーズ新形X線異物検査装置XA2412DRV、新形金検一体形オートチェッカCSE22LM-FOにて異物検査、重量検査を行い、ケースパッカー FCP-550VAにて段ボール箱に自動で箱詰めをするという、高速ながら安定したライン展示を実現し、多くのお客様より賞賛の声を頂戴いたしました。

その他、コストパフォーマンスにおいても、また機能面でもグレードアップした全自動式データウェイADW-510ACCや、簡単調整・簡単操作・簡単メンテナンスで環境にやさしい、新形の金検一体形オートチェッカCSE22LM-FOも、液晶カラータッチパネルの操作性の良さと、美しいステンレスボディに関心を頂き、多くの引き合いをいただきました。

当社は今後も多くのユーザー様に貢献できる革新的な計量技術の開発に努めてまいります。



TOTAL 2010



2010年5月25日から27日の3日間、イギリス・バーミンガム空港に隣接するナショナル・エキシビジョン・センター（NEC）において、“TOTAL 2010”が開催されました。

この展示会は3年に1度、PPMA (Processing Equipment & Packaging Machinery Association) が主催するイギリス最大規模の加工・包装機関連機器機械展の1つで、今回は世界各国から517社の出展を得て開催されました。展示会場がバーミンガム空港からモノレールで2駅という非常に便利な立地であったこともあり、多くの方に来場いただきました。

Yamatoからは、現地法人であるYamato Scale Dataweigh [U. K.] Ltd.の協力により自社ブースを構え、データウェイΣF1フロンティアシリーズをはじめとした商品展示を行いました。

今回の展示では、コンセプトを「Global Yamato」

とし、壁面に各拠点を示した世界地図および地球儀を配すことによって世界企業であることをPR致しました。

床面には**Yamato**の主力製品である組合せはかり**Dataweigh**の技術の歴史を説明するパネルを置き、組み合わせはかりで常に革新的技術を生み出して来たこともPR致しました。

また、「Info Pod」と呼ばれる情報端末を設置し、当社製品の革新的技術、またお客様にもたやす環境、コスト面でのメリットを多くの来場者にご理解いただくことができました。今回の展示会では非常に購買意欲の高い来場者が多く、会期終了後には多くのご成約を頂戴致しました。

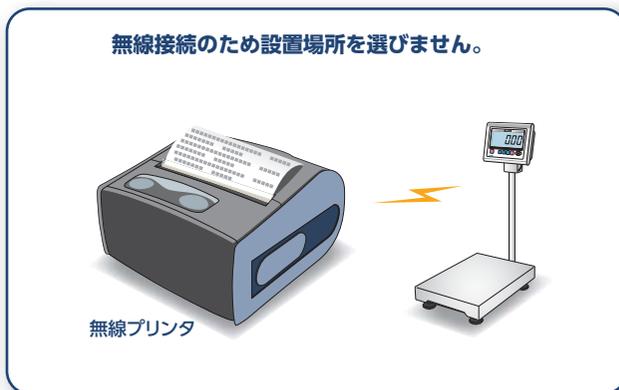
この展示会を通じて、**Yamato**ブランドが担う社会への使命を再認識するとともに、今後ますます拡大していく世界経済の発展に対し、計量という観点から貢献していけるよう取り組んでまいります。



無線通信機能搭載デジタルはかりシリーズ

大和製衡の防水デジタルはかりには「無線通信機能」が搭載されています。^{※1}
これにより様々な提案が可能になりました。

- 現場の計量状況をパソコンで管理できる
- プリンタは非防水なので安全な場所に設置することができる



採用事例

お客様業種

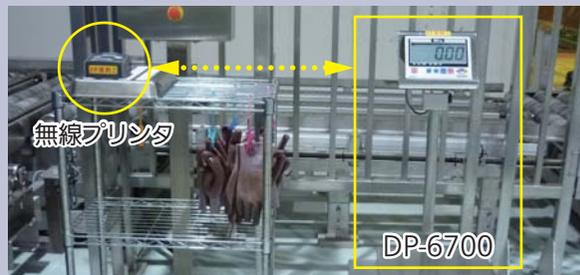
食品原料の加工会社

現状問題点

防水はかり（プリンタ付）をご使用頂いております。
プリンタ部は、非防水のため故障が絶えず3～4回/年の
修理を行っており、修理コストも高額である。

採用要因

新製品防水形デジタル台はかり「DP-6700」無線
プリンタ仕様の提案を行いました。
初期導入コストは少々割高になりますが、プリンタ部
は計量器と一体形でないため故障頻度が減少し、
プリンタの信頼性が向上することでトータルコストが
軽減できることが評価され採用となりました。



他社に無い機能で差別化を

現在、汎用デジタルはかりで無線通信システムを搭載
している計量器は **Yamato** だけです。無線プリンタは
従来のジャーナルプリンタと比較しても割高^{※2}であり
ますが、お客様にとって故障率が大幅に改善できる点が
メリットとなります。また、無線通信システムが、従来の
手書きによる計量管理を行っているお客様や新たに
管理を行いたいお客様にとって、記録ミスや手入力の
手間、ペーパーレスに繋がるとの提案ができます。

無線通信機能搭載デジタルはかり

DP-5600シリーズ	パソコン
UDS1-VII-WPシリーズ UDS-5V-WPシリーズ DP-6600シリーズ	パソコン、無線プリンタ、 ラベルプリンタ
DP-6700シリーズ	パソコン、無線プリンタ

※1 無線通信機能（Bluetooth無線通信、ZBee無線通信）は、工場オプションです

※2 無線プリンタ（Bluetooth無線通信ユニット付） 定価120,000円

デジタル式上皿自動はかり UDS-210W

水産加工食品工場の現場では防水形デジタル式上皿自動はかりが欠かせない物となっています。計量器の防水性・作業性・価格など様々な要求がある中でも、安価で防水性に優れたはかりのニーズが非常に高まっています。現在、大変ご好評を得ておりますUDS-200Wが平成22年9月1日より旧検則に基づく特定計量器として製造できなくなるのに伴い、後継機種として新検則に対応したUDS-210Wを2010年8月より発売いたします。



特長 1 新検則適合品

新検則とは、OIML国際勧告に整合をとるためJIS規格を引用するかたちで改正された特定計量器検定検査規則のことであり、非自動はかりは平成12年8月9日に改正されました。

旧検則に基づく非自動はかりの生産は平成22年8月31日までとされ、それ以降の生産は認められません。

特長 2 JIS5級の防水性能

JIS規格の保護等級5級をクリア。ハイグレードな防水性能を発揮します。

(JIS5級:いかなる方向からの水の直接噴流を受けても有害な影響のないもの)



特長 3 チェッカ機能(上下限判別機能)付き

上・下限の重量設定ができ、定量詰め作業に便利です。

下限値300g 上限値320gと設定した場合の判別例



軽量表示

適量表示

過量表示

特長 4 載皿は取り外して丸洗いOK

ステンレス製で簡単に取り外しができ、丸洗いができるので、大変衛生的です。



特長 5 電池の残容量チェック機能付き

電源投入時に風袋キーを押すと電池の残量を表示します。



特長 6 移動に便利な持ち手付き

はかり本体に持ち手があり、移動させる時に大変便利です。



金属検出機一体形オートチェッカ CSE22LM

あらゆるオペレーションの簡易操作を実現した「Eシリーズ」に高感度な金属検出機を一体化。これにより、生産ラインの金属異物を高感度に検知し、ラインの品質管理に貢献し、「安心・安全」そして「確実」をお約束いたします。



CSE22LM

重量チェッカと金属検出機の一体化

- 金属検出機はエフェクト・オートトラッキング（自動追尾）機能により温度変化などで製品の位相特性が変化した場合にも常に最適感度を得るように自動追尾します。これにより、さらに高感度な金属検出が可能となりました。
- ドライ製品、アルミ蒸着品を含め、多品種生産ラインに対応できます。
- 設置時間が短縮でき、最少設置スペースでの設置が可能です。
- 高感度 Fe(φ)0.3mm、SUS(φ)0.6mmの高感度検出。

※当検出感度は、当社標準試験状態における最高値です。

簡単操作のカラータッチパネルを採用

- 8.4インチカラー液晶パネルは「見やすさ」「使いやすさ」を追求し、品種設定は被計量物を数回通過させるだけで、重量選別設定や金属検出感度を自動設定します。また、表示言語は「日・英・中」を標準装備し、誰にでも簡単に操作することができます。



自己診断機能

- Yamato独自のモニタリングシステムにより、運転中のソフト、ハードを常に監視。トラブル発生時にはアニメーションによるエラーステータス表示により、無駄なライン停止時間を削減し、時間を要せずエラー復旧することができます。また当社独自の最適制御システムにより、コンベヤ速度を常にチェックし、設定された正確な速度を確保した運転を行います。



豊富なデータ管理機能と来歴表示機能

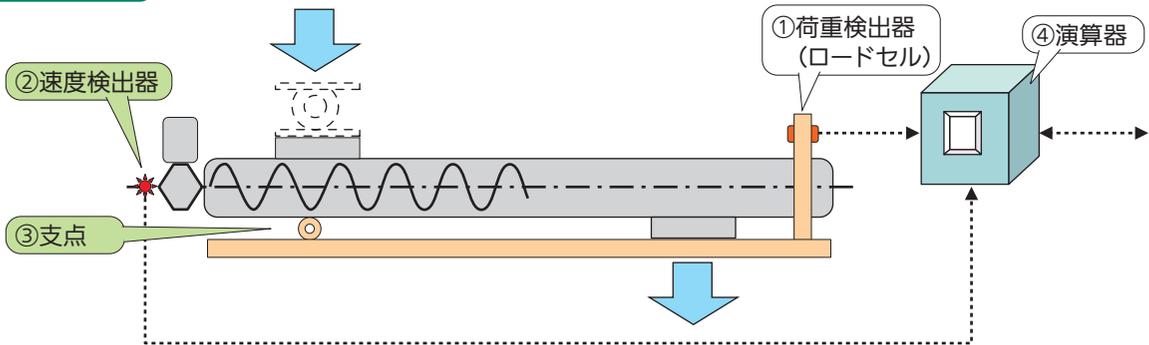
- USBポート、プリンタ、イーサネットにより、各種の計量データを簡単に効率よく管理することができます。
- イベント履歴、エラー履歴、不良品履歴を表示/印字することができ、トレーサビリティに有効に活用できます。



スクリーコンベヤスケール

スクリーコンベヤに計量器を設置することで従来からの流量測定方法の常識を打破りました。従来は、スクリーコンベヤのモータ回転数を測定しての見掛け輸送量、スクリーコンベヤのモータ負荷を測定して電流値による流量測定(推測)しかありませんでした。当社では、コンベヤスケールに対するノウハウ(動的計量)を駆使し、次のような原理にて製品化を実現いたしました。

模式図



上図のスクリーコンベヤに被計量物が流れますと、

- ①荷重検出器にて荷重を検知いたします。この荷重検出器は、
- ③支点部より排出側までの荷重値を検出している仕組みです。そして、
- ②速度検出器でスクリー回転数を測定して、
- ①荷重値を掛け算することでスクリーコンベヤ搬送能力(トン/時間)を求めます。
- ④演算器より搬送能力を上位へ信号出力いたします。

スクリーコンベヤスケールの特長

1. 管理方法が、容積管理 → 重量管理することができます。
2. 従来のベルト形コンベヤと比べて、部品点数が少なく、コンパクトです。
3. 密閉構造で環境対策に対応いたします。

スクリーコンベヤスケールの導入メリット

1. 重量管理することで…

品質が向上し、ブランド力をアップさせます。
作業性の向上につながり、生産性をアップさせます。
歩留まり管理が向上し、原材料の削減が行え製品単価を低減させます。

2. 部品点数削減およびコンパクト設計することで…

狭小スペースでも設置可能な為、設備計画を容易させます。
シンプルな設計であるので、メンテナンスのランニングコストを削減させます。

3. 密閉構造のため…

搬送中に外部より異物の混入が無いので安全安心を保証できます。
搬送中の粉塵の発生および臭気に対するの対策が取れており衛生面・環境面への問題を解決。

非自動はかりの平成22年経過措置満了について

平成12年8月9日通産省令第147号の経過措置の概略

【平成12年検則一部改正理由】

平成5年の全面的な計量法改正時に国際整合を考慮して技術基準の変更が行われたが、非自動はかりにおいては国際勧告R76(非自動はかり)に必ずしも整合がとれたものではなかった。平成12年8月9日に一部改正を行い、国際勧告R76に完全準拠する形で新技术基準が作成された。

しかし、国内における計量器事情等を考慮して改正が行われたため、一部国際勧告に整合しない部分もある。

【平成22年までの経過措置】

平成5年11月1日からの省令技術基準に基づく非自動はかりと平成12年8月9日からの一部改正に基づく非自動はかりが、当分の間は併存して国内で使用される。

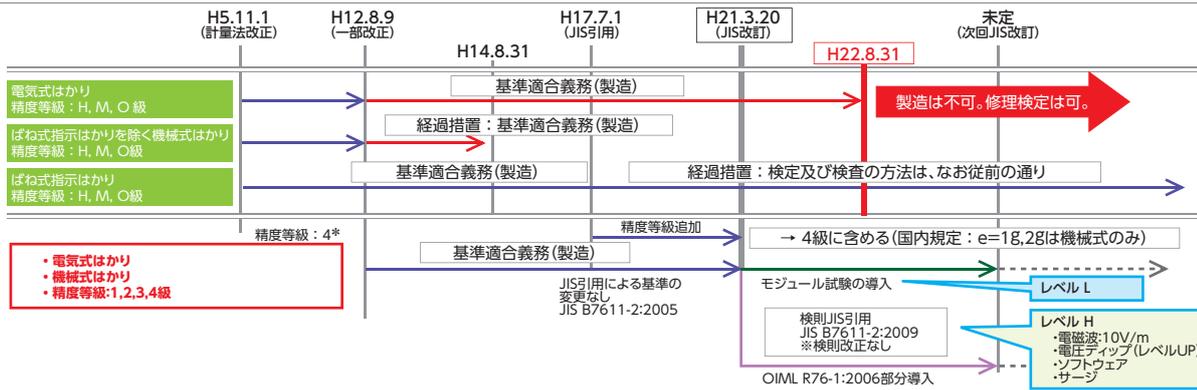
ただし、一部改正後すぐに新技术基準に適合させるには無理があり、新技术基準での型式承認取得にも時間を要することから、一定期間(10年間)の経過措置が設けられた。

経過措置を設けるにあたっては、平成5年技術基準での型式承認を取得している非自動はかりに対するもの及び型式外非自動はかりに対するもの等が考えられ、それらの使用者及び製造者に公平にかつ不利益がないように配慮された。

電気式はかり(H級、M級、O級)の平成12年検則一部改正経過措置

- ☆ 平成22年8月31日までは製造ができる(検則附則第2条)
- ☆ 平成22年9月1日以降の検定は可能(検則附則第3条、4条、6条)
 - ◆ 8月31日までの在庫品
 - ◆ 修理品
- ☆ 使用している電気式はかりの型式承認番号を除去してしまう場合は、新たに型式承認を付すことができない。(法第2条第5項、法第84条、法施行規則第4条)

非自動はかりの技術基準の変遷について



役員分掌

6月28日開催された株主総会で取締役が選任されました。引き続き開催された取締役会で執行役員が選任され、以下のとおり職務分掌が決定いたしましたのでお知らせいたします。

- 川西勝三 (代表取締役・社長)
- 川西能久 (取締役副社長・事業本部長)
- 大田孝雄 (専務取締役・総務部長)
- 安尾利和 (常務取締役・事業本部副本部長 兼産機事業部長)
- 林豊彦 (取締役・事業本部副本部長 兼自動機器事業部長)
- 岡村剛敏 (取締役・事業本部副本部長 兼自動機器事業部副事業部長)
- 西出博 (取締役・経営企画部長 兼生産本部長 兼MS経営責任者)
- 大松基秀 (常勤監査役)
- 中村貞雄 (執行役員・自動機器事業部副事業部長 特命担当)
- 小笠原和行 (執行役員・自動機器事業部副事業部長 国内営業担当)
- 猪澤正昭 (執行役員・生産本部副本部長 兼生産企画部長 兼品質管理部長)
- 長尾武好 (執行役員・普通はかり事業部長 兼普通はかり技術部長)

信頼・技術・創造
大和製衡株式会社

URL: <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号 TEL.078-918-5555
 普通はかり営業課 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号 TEL.078-918-6540
 東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号 TEL.03-5776-3121
 中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号 朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.052-238-5730
 千葉営業所 〒264-0025 千葉県若葉区都賀4丁目8番18号 ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
 九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号 博多イトビル1階 TEL.092-471-1921

2010年8月発行 10081200 Ik

